

# ハワイ大学

## スタインホフ教授講演会

# 社会運動におけるグローカル化

## 60年代日本の学生運動を中心に



## パトリシア・スタインホフ

(ハワイ大学社会科学部社会学科教授)

1960年代を中心とする日本の学生運動は、新左翼運動に影響を受けた。新左翼思想は西洋生まれだが、日本で受容される際にはかなり変容した。それは一種のグローカル化である。グローカル化とは、グローバル化によって入ってくるものが、当該の社会の制度や考え方に合わせて採用されるプロセスのことである。日本の新左翼運動も、このプロセスを経た。そして、そこから新しい成り行きが派生し、想像しえないような結果になった。

司会：西原和久（成城大学社会イノベーション学部心理社会学科教授）

単著：『死へのイデオロギー—日本赤軍派』（岩波現代文庫、2003年）

共著：『連合赤軍とオウム真理教—日本社会を語る』（伊東良徳と共著、彩流社、1996年）

英書：『Destiny: The Secret Operations of the Yodogō Exiles, ed. by Steinhoff, P. G., University of Hawai'i Press, 2017（高沢皓司『宿命—「よど号」亡命者たちの秘密工作』新潮文庫、1998年の編集・解説・翻訳）

日時：6月2日（土）16時30分～18時00分（16時より受付）

会場：成城大学3号館3階大会議室



CENTER FOR GLOBAL STUDIES  
SEIJO UNIVERSITY

お問い合わせ：  
成城大学グローバル研究センター  
〒157-8511 東京都世田谷区成城 6-1-20  
✉E-mail: glocalstudies@seijo.ac.jp  
☎Tel: 03-3482-1497

参加費無料、事前登録不要。どなたでも参加できます。

※発表は原則日本語です

文科省：私立大学研究ブランディング事業